

**令和5年度 沖縄観光コンテンツ開発支援事業補助事業  
実施計画書記載要領**

実施計画書については、以下の項目を含め作成すること。

1 事業概要

- (1) 沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化、芸能等の観光資源）を活用した多彩で付加価値の高い観光コンテンツ開発となっているか。
- (2) 観光消費額の向上や滞在日数の延伸等に繋がる取り組みとなっているか。
- (3) 持続性及び発展性が見込まれ、自走化を前提とした取り組みとなっているか。

2 実施内容

※留意事項

- ・ 具体的、かつ戦略的に記載すること。
  - ・ 複数年度応募を予定している事業については、達成目標を明確にしたうえで実施内容を記載すること。
- (1) 磨き上げる地域の観光資源の説明
    - ・ どのような地域の観光資源を活用し、付加価値のある新たなコンテンツなのか（ストーリー性、コンセプト等を具体的に記載）
  - (2) ターゲット、ターゲットニーズの設定
    - ・ どのような市場ニーズを捉えて、本事業を実施するのか。
    - ・ マーケティング戦略のもとターゲット設定を行うこと。なお、ターゲット設定根拠（マーケティング戦略等）も記載すること。
  - (3) 取組内容
    - ・ 具体的な取組内容を記載するとともに、下記視点も含めること。
    - ・ プロモーション戦略
      - ・ ターゲット設定を踏まえた上で、当該ターゲットに向けた誘客プロモーションの手法（活用媒体等）を具体的および明瞭に記載すること。なお、旅前・旅中にそれぞれ分けて記載すること。
    - ・ 感染症への対策
      - ・ 事業実施の際に、国及び沖縄県の各種ガイドラインに従い、適切な感染症対策を講じること。また、具体的な対策内容を記載すること。
    - ・ 新規性や独自性など、事業のアピールポイントを記載すること。
    - ・ 応募者の強みを活かした事業となっているか。
    - ・ 競合分析と差別化手法について記載すること。

(4) 実施時期

- ・「令和5年度沖縄観光コンテンツ開発支援事業補助事業応募要領」を確認したうえで設定すること。

(5) 事業効果

- ・沖縄観光の課題解決にどのように資するのか、具体的に記載すること。

(6) 事業費

- ・総事業費（補助額）を記載する。単位は千円とする。

3 事業目標

- ・定量的、定性的目標を具体的に記載すること。
- ・複数年度応募したい場合は、各年度の目標を明確にすること。

4 事業実現のための課題等

- ・進捗上の不可欠な要素や想定される課題を整理し、それらに対処する手法等について記載すること。

5 事業継続に向けた取組

- ・事業の成功に向け、地元自治体、観光協会等の県内関係事業者と連携すること。
- ・また、当該連携施策については、地域ブランディングの視点を持ち、具体的かつ実現可能な取組内容を記載すること。
- ・補助終了後、自走化に向けた具体的な取組を記載すること。

6 事業実施体制図

- ・事業の実施体制図を記載すること。

7 採択要件に係る留意事項

(1) 沖縄観光の課題解決に資する取組内容

実施事業が消費額向上や平均滞在日数の延伸、ナイトコンテンツ、雨天時、冬のコンテンツの充実等の沖縄観光の課題解決に寄与するのか、具体的に事業計画書に記載すること。

(2) 補助終了後の自走化に向けた取組内容

事業の自走化へ向けた計画及び自走化を図る上での課題等を抽出し、当該計画について、明瞭かつ具体的に明記すること。

(3) アンケートの実施と報告

事業実施の際に参加者等に対しアンケートを必ず実施し、参加者の傾向が反映された分析結果を報告すること。

※図表や写真などを用いて理解促進に努めて下さい。

※A4縦置き、テキストベースで作成してください。

※提出はページを振り両面印刷とし、最大15ページ以内としてください。